

摂食拒否がみられた患者への援助

津生協病院 NST

稲垣清美(看護師) 小菅美佳(薬剤師) 猪田秀子(管理栄養士) 山村剛史(医師) 宮崎智徳(医師)

当院では、NST 活動をスタートさせて約5年が経過しました。その中で、口腔期以前に問題のある患者様に関わり、食欲・経口摂取の楽しみを取り戻せるように援助していきました。その一症例を通し、早期 NST 介入の必要性や継続的にフォローしていくことの必要性をまとめました。

< 事例 >

M 氏 80歳 女性

ALB 2.7g/dl 総リンパ球数 1996.5/mm³

身長 147cm 体重 41.8kg 理想体重 47.5kg

BEE 952kcal TEE 1142kcal ストレス係数 1.2 活動係数 1.0

食欲低下認められ入院。入院後も食欲不振続き、ALB 低値認められ NST 介入。胃瘻造設について説明されたが、拒否されたため 経口摂取に向けて食事内容や内服薬の変更等も行ってきました。

計3回の NST 回診を終了し、経口摂取が安定し退院されました。退院後は、当院からの月1回の往診でフォローされています。